

自己評価結果等届出書

令和 8 年 2 月 27 日

鹿児島市長 殿

1 事業者（所）情報

事業者の名称 (法人名)	社会福祉法人 慶生会					
事業所の名称 (施設名)	放課後等デイサービス ペペ					
事業所番号	4650002613					
事業の種別	<input type="checkbox"/>	児童発達支援	<input checked="" type="checkbox"/>	放課後等デイサービス	<input type="checkbox"/>	保育所等訪問支援
事業所の所在地	鹿児島市中山2丁目13番15号					

2 公表状況

公表日	令和 8 年 2 月 27 日	
公表方法	1. 方法の区分 (プルダウンから選択)	ホームページ ↓ 2 に URL を記載
	2. 内容	https://www.keiseikai-kagoshima.jp/outline
	<u>※公表をホームページ以外の方法で行っている場合には、公表している媒体の写しや事業所内の掲示箇所が確認できる写真等も添付すること。</u>	

3 自己評価事務担当者情報

担当者名	時吉 凌太
連絡先 (TEL)	099-210-1003

※公表している自己評価表を添付すること。

公表	事業所における自己評価総括表
----	----------------

○事業所名	放課後等デイサービス ペパ			
○保護者評価実施期間	令和8年1月4日		～	令和8年1月31日
○保護者評価有効回答数	(対象者数)	51名	(回答者数)	23名
○従業者評価実施期間	令和8年2月2日		～	令和8年2月9日
○従業者評価有効回答数	(対象者数)	7名	(回答者数)	7名
○事業者向け自己評価表作成日	令和7年2月27日			

○ 分析結果

	事業所の強み(※) だと思われること ※より強化・充実を図ることが期待されること	工夫していることや意識的に行っている取組等	さらに充実を図るための取組等
1	<p>活動内容の充実</p> <ul style="list-style-type: none"> ・5領域に基づいた日常療育 ・土曜日、長期休暇等を利用した生活体験活動 	<p>活動プログラムが固定化しないよう、バランスよく計画を立てることを心がけている。また、土曜日や長期休暇などの長い療育時間を活用して、施設外活動を増やしている。</p>	<p>保護者や子どもからの活動リクエストを取り入れ、支援に反映させることで、より充実した活動プログラムを実現していきたい。</p>
2	<p>異年齢交流と豊富な体験の場</p> <ul style="list-style-type: none"> ・小学1年生から高校3年生までを対象としている ・異年齢同士の交流が可能である ・放課後等デイサービスとしては珍しい20名定員(通常は10名定員)で、多様な経験を積むことができる 	<p>個別の活動だけでなく、集団遊びや協働型の活動も多く取り入れることで、友達との関わり方やルールの理解、順番を待つ力など、人間関係の構築やコミュニケーション能力の向上につなげている。また、集団の中での成功体験や役割経験を通して、自己肯定感や社会性の育成も図っている。</p>	<p>事業所内のグループ活動に加え、他事業所との合同イベントを増やすことで、交流の場をさらに広げていきたい。また、普段関わることの少ない他事業所の子どもや職員との交流を通じて、さまざまな刺激を受けたり、異なる視点を学ぶ機会を提供していきたい。</p>
3	<p>放課後等デイサービスを取り巻く、さまざまなサービスと連携できる</p>	<p>法人内の児童発達支援や相談支援との連携により、支援をスムーズに進めることができている。また、通所・就労支援事業所もあるため、放課後等デイサービス終了後も組織的な支援を継続することができる。</p>	<p>保護者の要望や必要に応じて地域との連携を図っているが、現状では法人内の事業所のみで支援が完結することが多い。今後は、外部の事業所や関係機関との連携をさらに強化し、より幅広い支援体制の構築を目指していきたい。</p>

	事業所の弱み(※) だと思われること ※事業所の課題や改善が必要だと思われること	事業所として考えている課題の要因等	改善に向けて必要な取組や工夫が必要な点等
1	<p>理学療法士 (PT)、作業療法士 (OT)、言語聴覚士 (ST) などの専門職との連携に課題を感じている。</p>	<p>法人内には専門職が在籍しているが、現在は成人分野での支援を中心に従事している状況である。そのため、対象となる利用児への支援については、より効果的に専門性を活かせる体制づくりや配置の調整が必要である。</p>	<p>専門職員との連携をさらに強化し、児童への支援の機会を増やしていきたい。必要に応じて、外部事業所との連携も図ってきたい。</p>
2	<p>地域の方や他の子どもと交流する機会をさらに増やしていきたい。</p>	<p>児童クラブや他事業所との交流の機会ほとんどない。過去に検討したことはあるものの、現時点では実施には至っていない。</p>	<p>併用利用しているお子様が多い事業所との合同イベントの実施を提案していきたい。今年度より法人内で地域の方を対象とした定期的なイベントを開催しているため、そこから発展させて新たな交流の機会をつくっていきたい。</p>
3	<p>家族やきょうだい同士が交流できる行事を増やし、家族支援やレスバイトの機会をさらに充実させていきたい。</p>	<p>療育時間帯にお仕事をしている保護者が多く、参加が難しい場合もあると考えている。</p>	<p>お仕事をしている保護者でも参加しやすいよう、親子行事の時間帯や活動場所を工夫する。また、魅力的な内容をこちらから提案し、参加したくなるようにするとともに、案内は早めに行い予定の調整がしやすいよう配慮する。</p>

公表

保護者等からの事業所評価の集計結果

事業所名 放課後等デイサービス ベベ

公表日 令和7年2月27日

利用児童数 51名 回収数 22名

	チェック項目	はい	どちらとも いえない	いいえ	わからない	ご意見	ご意見を踏まえた対応
環境・ 体制 整備	1 こどもの活動等のスペースが十分に確保されていると思いますか。	23				活動内容や遊びの目的に応じて、複数の療育室を使い分けていてよい	遊びや活動の内容、子どもの利用人数に応じて部屋を使い分けたり、複数の部屋を活用したりすることで、安全で快適な活動環境の確保に努めています。今後も引き続き、子どもたちが安心してのびのびと活動できる環境づくりを進めてまいります。
	2 職員の配置数は適切であると思いますか。	23					
	3 生活空間は、こどもにわかりやすく構造化された環境になっていると思いますか。また、事業所の設備等は、障害特性に応じて、バリアフリー化や情報伝達等への配慮が適切になされていると思いますか。	23					
	4 生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっていると思いますか。また、こども達の活動に合わせた空間となっていると思いますか。	22	1			子供的にはきれいな空間とは思っていません。(トイレにハンドソープがない等)	いただいたご意見を受け、すべてのトイレを確認し、設置されていなかった箇所には新たに設置しました。誤飲防止の観点から、一部の設置場所は工夫していますが、背の低いお子様も使いやすいよう配慮しています。子どもたちの活動や安全面に応じた生活空間の整備に努めています。今後も、環境面で気づいたことがあればお知らせください。
適切な 支援の 提供	5 こどものことを十分に理解し、こどもの特性等に応じた専門性のある支援が受けられていると思いますか。	21	2			先生によっては、自分のことを思っていないと感じているようです。	ご不快な思いをさせてしまったことについてお詫び申し上げます。ご相談は管理者までお気軽にお寄せください。また、伝えづらい内容については、設置している意見箱もご利用いただけます。当事業所では、子ども一人ひとりの特性や状況に応じた支援の質を高めるため、職員間での情報共有や研修を積極的に行っています。今後も保護者の皆様からのご意見を参考に、よりよい支援を提供できるよう改善に努めてまいります。
	6 事業所が公表している支援プログラムは、事業所の提供する支援内容と合っていると思いますか。	23					
	7 こどものことを十分理解し、こどもと保護者のニーズや課題が客観的に分析された上で、放課後等デイサービス計画（個別支援計画）が作成されていると思いますか。	23					
	8 放課後等デイサービス計画には、放課後等デイサービスガイドラインの「放課後等デイサービスの提供すべき支援」の「本人支援」、「家族支援」、「移行支援」で示す支援内容からこどもの支援に必要な項目が適切に設定され、その上で、具体的な支援内容が設定されていると思いますか。	23					
	9 放課後等デイサービス計画に沿った支援が行われていると思いますか。	23					
	10 事業所の活動プログラムが固定化されないよう工夫されていると思いますか。	22	1				5領域ごとに活動リストを作成していません。活動を計画する際には、前月の内容を確認し、活動内容や曜日が重ならないよう工夫しています。また、当月についても週ごとや曜日ごとに確認し、偏りが生じないように調整しています。
11 放課後児童クラブや児童館との交流や、地域の他のこどもと活動する機会がありますか。	15	3		5	①夏祭り等でだいぶ地域の方や子ども達と一緒に過ごす機会は増えたと思う。ただ学童についてはまだ聞いたことがないので、「どちらともいえない」を選びました。 ②フェスやお祭りなどあって、地域と交流もしているなどと思います。	地域の方にもご参加いただける季節行事は、今後も継続して実施していく予定です。一方で、放課後児童クラブとの直接的な交流はまだ行っておらず、今後の課題としています。 当事業所では、学校休業日などに近隣の公園へ出かけ、地域の子どもたちと一緒に遊ぶ機会を多く設けています。今後も、地域とのつながりを大切にしながら、子どもたちの交流の機会をさらに充実させてまいります。	
12 事業所を利用する際に、運営規程、支援プログラム、利用者負担等について丁寧な説明がありましたか。	23						
13 「放課後等デイサービス計画」を示しながら、支援内容の説明がなされましたか。	23						
14 事業所では、家族に対して家族支援プログラム(ペアレント・トレーニング等)や家族等も参加できる研修会や情報提供の機会等が行われていますか。	21	1		1		現在、未就学の保護者様を対象にペアレントトレーニングを実施しております。今後はニーズに応じて、対象の拡大についても検討してまいりたいと考えております。	

保護者への説明等	15	日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの健康や発達状況について共通理解ができていると思いますか。	23						
	16	定期的に、面談や子育てに関する助言等の支援が行われていますか。	23						
	17	事業所の職員から共感的に支援をされていると思いますか。	21	1		1		お子様や保護者様のお声に寄り添った支援を心がけております。もしそのように感じられないことがございましたら、ぜひご意見をお聞かせください。今後の改善につなげてまいります。	
	18	父母の会の活動の支援や、保護者会等の開催等により、保護者同士の交流の機会が設けられるなど、家族への支援がされているか。また、きょうだい向けのイベントの開催等により、きょうだい同士の交流の機会が設けられるなど、きょうだいへの支援がされていますか。	23						
	19	子どもや家族からの相談や申入れについて、対応の体制が整備されているとともに、子どもや保護者に対してそのような場があることについて周知・説明され、相談や申入れをした際に迅速かつ適切に対応されていますか。	23						
	20	子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮がなされていると思いますか。	23						
	21	定期的に通信やホームページ・SNS等で、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報や業務に関する自己評価の結果を子どもや保護者に対して発信されていますか。	23						
	22	個人情報の取扱いに十分に留意されていると思いますか。	22			1		重要事項説明書に個人情報の取り扱いについて記載しております。それに沿って適切に対応しておりますので、ご確認ください。	
非常時等の対応	23	事業所では、事故防止マニュアル、緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等が策定され、保護者に周知・説明されていますか。また、発生を想定した訓練が実施されていますか。	23						
	24	事業所では、非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練が行われていますか。	23						
	25	事業所より、子どもの安全を確保するための計画について周知される等、安全の確保が十分に行われた上で支援が行われていると思いますか。	22	1				安全計画は策定しております。改めて、職員への周知を徹底してまいります。	
	26	事故等（怪我等を含む。）が発生した際に、事業所から速やかな連絡や事故が発生した際の状況等について説明がされていると思いますか。	22	1				怪我や事故が発生した際には、マニュアルに沿って対応し、保護者様へ丁寧な説明と謝罪を行うよう心がけております。また、事故や怪我の内容を職員間で共有し、原因を検証したうえで、再発防止に努めてまいります。	
満足度	27	子どもは安心感をもって通所していますか。	21	2				少し不安はあるようです。 どのような点に不安を感じておられるかをお知らせいただければ、気持ちに寄り添った支援につなげていきたいと考えています。直接お伝えしづらい内容につきましては、設置している意見箱もご活用ください。 当事業所では、子どもが安心して通所できるよう、一人ひとりの様子や気持ちに目を向けた環境づくりに努めています。今後も保護者の皆様の声を大切にしながら、不安やニーズに応じた支援を進めてまいります。	
	28	子どもは通所を楽しみにしていますか。	22		1			①毎回楽しみにしています。夏休みなどは特に活動内容が充実しておりいつも以上に楽しそうでした。 ②仲のいい子がきている時はいいが、それ以外は嫌々通っています。 ③週に1回しかないのですが、楽しみみたいです。	たくさんのご意見をありがとうございます。利用いただいているすべての皆様が楽しく過ごせる事業所作りを努めてまいります。当事業所では、子ども一人ひとりの関心や友人関係に配慮しながら、活動内容の工夫や充実を図り、安心して楽しめる環境づくりに取り組んでいます。今後も保護者の皆様の声を参考にしながら、より多くの子どもたちが活動を楽しめるよう努めてまいります。至らない点がありましたら、いつでもご意見をお寄せください。
	29	事業所の支援に満足していますか。	23					①いつも面白い活動があって大変満足しています。 ②クリスマス発表会もとても良かったです。これからも期待しています。 ③いつも本当にありがとうございます。 ④満足しております！いつもありがとうございます。	たくさん温かいご意見をありがとうございます。皆様からのお声を励みに、今後もより充実した支援が提供できるよう努めてまいります。また、何かお気づきの点やご要望がありましたら、いつでもお知らせください。保護者の皆様と連携しながら、子どもたちにとってより良い環境づくりを進めてまいります。

公表

事業所における自己評価結果

事業所名		放課後等デイサービス ベベ		公表日	令和7年2月27日	
	チェック項目	はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点	
環境・体制整備	1	利用定員が発達支援室等のスペースとの関係で適切であるか。	○		遊びや活動内容、子どもの人数に合わせて、さまざまな療育室を使い分けている。	活動ごとに部屋の移動が必要となり、行き来が多くなるというデメリットもあるため、動線の工夫が必要
	2	利用定員やこどもの状態等に対して、職員の配置数は適切であるか。	○			複数の学校の下校時刻が重なる時間帯には、送迎対応が集中するため、一時的に職員配置が手薄になる場合がある。状況に応じて職員同士で連携を取りながら対応している。
	3	生活空間は、こどもにわかりやすく構造化された環境になっているか。また、事業所の設備等は、障害の特性に応じ、バリアフリー化や情報伝達等、環境上の配慮が適切になされているか。	○		トイレについては、一般トイレと子ども用トイレの両方を設けているため、子どもの発達段階や特性に応じて使い分けている。	多少の行き来は必要となるが、さまざまな設備や環境を整えることで、安心して過ごせるよう配慮している。
	4	生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっているか。また、こども達の活動に合わせた空間となっているか。	○		療育開始前および終了後に、清掃を行っている。	療育室内の整理整頓が不十分であると感じる場面があり、必要性の低い物が置かれていたり、使用後の片付けが十分に行われていないことがある。
	5	必要に応じて、こどもが個別の部屋や場所を使用することが認められる環境になっているか。	○		その時の状況に応じて、複数の療育室を使用している。	
業務改善	6	業務改善を進めるためのPDCA サイクル（目標設定と振り返り）に、広く職員が参画しているか。	○			話し合う機会が十分に設けられておらず、職員間で意識に差が見られる。
	7	保護者向け評価表により、保護者等の意向等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	○		内容を集計した上で職員に周知し、業務改善に生かしている。	
	8	職員の意見等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	○		職員への共有は朝礼の場で行っている。	継続して十分に行っていないことがある。意見は共有しているものの、業務改善につながらない点もあり、マイナスの意見も見られる。
	9	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげているか。		○		現在、外部評価は行っていない。今後、外部評価の導入を検討している。
	10	職員の資質の向上を図るために、研修を受講する機会や法人内等で研修を開催する機会が確保されているか。	○		外部研修が積極的にに行われており、法人内でも研修が実施されている	研修の受講者が管理者に集中しているため、幅広い職員が受講できる体制の整備が必要。
適切な支援の提供	11	適切に支援プログラムが作成、公表されているか。	○		作成した支援プログラムは、当事業所のホームページにて公表している。保護者や関係者の皆様にも、日々の支援内容や取り組みを確認できるようにしている。	
	12	個々のこどもに対してアセスメントを適切に行い、こどもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、放課後等デイサービス計画を作成しているか。	○		計画書の作成に当たっては、事業所内でアセスメントやモニタリングを実施している。	
	13	放課後等デイサービス計画を作成する際には、児童発達支援管理責任者だけでなく、こどもの支援に関わる職員が共通理解の下で、こどもの最善の利益を考慮した検討が行われているか。	○		計画書の作成後、事業所の全職員で内容の確認をしている。	
	14	放課後等デイサービス計画が職員間に共有され、計画に沿った支援が行われているか。	○			書類作成に関わる職員の人数を増やし、情報共有や書類作成の体制をより充実させることで、支援の質向上につなげていく。
	15	こどもの適応行動の状況を、標準化されたツールを用いたフォーマルなアセスメントや、日々の行動観察なども含むインフォーマルなアセスメントを使用する等により確認しているか。	○		法人内で統一されたアセスメントツールを活用している。お子様の状態については、気付いた職員が逐一発信している。	個々の支援が十分かどうか不安に感じることがある。
	16	放課後等デイサービス計画には、放課後等デイサービスガイドラインの「放課後等デイサービスの提供すべき支援」の「本人支援」、「家族支援」、「移行支援」及び「地域支援・地域連携」のねらい及び支援内容も踏まえながら、こどもの支援に必要な項目が適切に設定され、その上で、具体的な支援内容が設定されているか。	○		放課後等デイサービスガイドラインに沿って計画作成をしている。	今後の課題として、職員一人ひとりがガイドラインに関する知識や理解をさらに深めていく必要がある。
	17	活動プログラムの立案をチームで行っているか。	○		事業所職員全員で活動プログラムを考えている。	
	18	活動プログラムが固定化しないよう工夫しているか。	○		活動プログラムに偏りがなく、内容を確認している。また、定期的に保護者や子どもからのリクエスト活動を取り入れている。	
	19	こどもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせ放課後等デイサービス計画を作成し、支援が行われているか。	○		子どもの特性や環境に合わせた配慮がされている。子どもの性格や特性に応じた支援計画書を作成している。個々の目標だけでなく、周囲とのつながりも大切にしている。	

	20	支援開始前には職員間で必ず打合せを行い、その日行われる支援の内容や役割分担について確認し、チームで連携して支援を行っているか。	○		毎日、朝礼を行っている。	
	21	支援終了後には、職員間で必ず打合せを行い、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有しているか。	○		前日の内容を朝礼の場で振り返っている。	継続して実施できていない日もあり、不十分な場合がある。当日中に振り返りができるとさらに良い。
	22	日々の支援に関して記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげているか。	○		お客様の様子や支援の内容については、毎日個別に記録を取っている。必要に応じて職員間で情報交換を行い、支援の検証や改善につなげている。	
	23	定期的にモニタリングを行い、放課後等デイサービス計画の見直しの必要性を判断し、適切な見直しを行っているか。	○			定期的にモニタリングは行っているものの、職員間での共有が十分とは言えない面がある。今後は、情報共有の方法や機会を見直していく。
	24	放課後等デイサービスガイドラインの「4つの基本活動」を複数組み合わせさせて支援を行っているか。	○			地域交流の機会が少ないことに課題を感じている。今後は、土曜日や長期休暇を活用した活動を計画していく。
関係機関や保護者との連携	25	こどもが自己選択できるような支援の工夫がされている等、自己決定をする力を育てるための支援を行っているか。	○			ひとつの活動に対して複数の課題を用意したり、自由遊びの選択肢を広げたりするなど、子ども主体で取り組める配慮をしている。
	26	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議や関係機関との会議に、そのこどもの状況をよく理解した者が参画しているか。	○		定期的に参加できている。また、必要に応じて担当者会議の開催依頼も行っている。	
	27	地域の保健、医療（主治医や協力医療機関等）、障害福祉、保育、教育等の関係機関と連携して支援を行う体制を整えているか。	○			必要に応じて連携を図っているが、今後は連携の機会をさらに増やしていきたいと考えている。
	28	学校との情報共有（年間計画・行事予定等の交換、こどもの下校時刻の確認等）、連絡調整（送迎時の対応、トラブル発生時の連絡）を適切に行っているか。	○		年2回の学校情報交換会や送迎の際など、こまめにやり取りができている。	
	29	就学前に利用していた保育所や幼稚園、認定こども園、児童発達支援事業所等との間で情報共有と相互理解に努めているか。	○		法人内の事業所を利用していた子どもの情報は、適切に共有できている。	保育所や幼稚園、認定こども園などとの連携が少ないため、情報共有の場を設け、より良い支援につなげていく。
	30	学校を卒業し、放課後等デイサービスから障害福祉サービス事業所等へ移行する場合、それまでの支援内容等の情報を提供する等しているか。	○		移行先や保護者から依頼があった場合に、情報提供を行っている。	
	31	地域の児童発達支援センターとの連携を図り、必要等に応じてスーパーバイズや助言や研修を受ける機会を設けているか。	○		法人内の児童発達支援センター主催の連絡会に参加し、外部事業所との連携や協力につなげるとともに、助言を受ける場にもなっている。	
	32	放課後児童クラブや児童館との交流や、地域の他のこどもと活動する機会があるか。	○			活動等において、計画を立てて交流する機会が十分に設けられていない。地域の公園などへ外出した際に、一緒に遊ぶ場面は見られるため、そうした関わりを大切にしつつ、今後は計画的に交流できる機会を増やしていく必要がある。
	33	（自立支援）協議会等へ積極的に参加しているか。	○		法人の代表が参加しており、参加後はその内容を共有してもらっている。	
	34	日頃からこどもの状況を保護者と伝え合い、こどもの発達の状況や課題について共通理解を持っているか。	○		日頃からお迎えの際の申し送りや連絡帳などを通して、子どもの状況を保護者と伝え合っている。これにより、子どもの発達の状況や課題について、保護者と共通理解を持つよう努めている。	
	35	家族の対応力の向上を図る観点から、家族に対して家族支援プログラム（ペアレント・トレーニング等）や家族等の参加できる研修の機会や情報提供等を行っているか。	○			現在、未就学児の保護者向けにペアレントトレーニングを実施している。ニーズを見ながら、対象者を拡大していきたいと考えている。
保護者への説明等	36	運営規程、支援プログラム、利用者負担等について丁寧な説明を行っているか。	○		新規利用契約の際、また内容に変更があった際には、その都度説明している。	
	37	放課後等デイサービス提供を作成する際には、こどもや保護者の意思の尊重、こどもの最善の利益の優先考慮の観点を踏まえて、こどもや家族の意向を確認する機会を設けているか。	○		アセスメントや個別支援会議、モニタリングなどを通して聞き取りを行っている。	
	38	「放課後等デイサービス計画」を示しながら支援内容の説明を行い、保護者から放課後等デイサービス計画の同意を得ているか。	○		支援計画書の内容について必ず説明を行い、同意を得た日付と署名をいただいている。	
	39	家族等からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、面談や必要な助言と支援を行っているか。	○		申し送りでの情報交換に加え、必要に応じて電話連絡や個人面談も行っている。	
	40	父母の会の活動を支援することや、保護者会等を開催する等により、保護者同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。また、きょうだい同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。	○		定期的に家族会や親子行事を行っている。	ニーズや要望に応じて、実施回数を増やしていきたいと考えている。
	41	こどもや保護者からの苦情について、対応の体制を整備するとともに、こどもや保護者に周知し、苦情があった場合に迅速かつ適切に対応しているか。	○		苦情解決に向けたマニュアルがあり、それに沿って対応している。	

	42	定期的に通信等を発行することや、HPやSNS等を活用することにより、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報を子どもや保護者に対して発信しているか。	○		Instagramを中心に活動内容を発信している。行事予定は月1回、書面およびメールでお知らせしている。	
	43	個人情報の取扱いに十分留意しているか。	○		重要事項説明書に個人情報の扱いに関する記載があり、それを遵守している。	
	44	障害のある子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしているか。	○		絵カードやハンドサインなどを活用した視覚支援、ホワイトボードを活用した筆談などを取り入れている。	
	45	事業所の行事に地域住民を招待する等、地域に開かれた事業運営を図っているか。	○		法人での取り組みとして「サマーフェスタ」「フリーマーケット」等を開催している。今年度からは、地域ごとの行事も実施している。	
非常時等の対応	46	事故防止マニュアル、緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等を策定し、職員や家族等に周知するとともに、発生を想定した訓練を実施しているか。	○		各種マニュアルを策定している。避難訓練は地震、火災、風水害を想定して毎月実施している。	
	47	業務継続計画（BCP）を策定するとともに、非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っているか。	○		災害発生時や感染症対策に関するBCPを策定している。また、机上訓練を通して定期的に周知している。	
	48	事前に、服薬や予防接種、てんかん発作等の子どもの状況を確認しているか。	○		利用開始時の聞き取りとアセスメント表を用いて、年に1回必ず聞き取りを行っている。	
	49	食物アレルギーのある子どもについて、医師の指示書に基づく対応がされているか。	○		法人内の栄養士と連携し、個別対応を行っている。また、医師からの指示書もいただきながら対応している。	
	50	安全計画を作成し、安全管理に必要な研修や訓練、その他必要な措置を講じる等、安全管理が十分された中で支援が行われているか。	○		職員会議を活用した研修や、定期的な訓練を実施している。	
	51	子どもの安全確保に関して、家族等との連携が図られるよう、安全計画に基づく取組内容について、家族等へ周知しているか。	○		緊急時対応に関する案内や緊急連絡先の聞き取りを行っている。	
	52	ヒヤリハットを事業所内で共有し、再発防止に向けた方策について検討をしているか。	○		事業所内だけでなく、法人全体でも情報を共有している。	
	53	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか。	○		事業所として月1回、虐待防止および身体拘束適正化委員会を実施している。また、法人内でも同様の研修があり、定期的に参加している。	
	54	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、子どもや保護者に事前に十分に説明し理解を得た上で、放課後等デイサービス計画に記載しているか。	○		身体拘束適正化に向けたマニュアルを作成している。身体拘束が必要な場合は、必ず保護者に内容を説明し、同意を得ている。	